

夢湧き夢に夢中

第 4 号

令和7年5月9日 文責：大谷

陸力協心 ～夢中で駆けろ!! 青春の舞台～

「全員の力を結集し、一致協力して任務に当たること。▽「戮(りく)」には合わせる、一つにする意があり、「戮力」は力を合わせることを。「協心」は心を乱さず、調和をはかること。」(goo辞書より)

今年度の体育大会スローガンは、「陸(正しくは「戮」だが、今大会スローガンでは「陸」を用いる)」「力協心」夢中で駆けろ!! 青春の舞台」である。そこで、さっそくGoogleで検索してみたところ、おおよそどのサイトも冒頭のとおりであった。体育大会が目指すべきゴールが明確に示された素晴らしいスローガンである。そして、先日の結団式では、実行委員長の高宮 一平さんが次のように全校生徒にスローガンに込めた思いを力強く指し示してくれた。

「みなさん、普段の学校生活の中でルールを守り、協力して勉強に取り組んでいますか。個人的には、まだまだ改善できる点が多くあると思います。そういった協力する心を体育大会を通して学んで欲しいです。ほかに、最高の思い出にしたいという思いもあります。短い期間の練習の中、難しいことをいくつも覚えなければならず大変だとは思いますが、無事にやり遂げたときには最高の思い出になっている

るはずですよ。このような思いを込めてスローガンを作りました」

体育大会は、あくまで日常の授業や学校生活の延長線上にあるものであり、まずはこの機会に自己の日常を振り返り、改善すべきところは改善を図りながら一つ一つ仲間と協力していくことで、最高の思い出にしたい、と説いてくれた。一見当たり前のことのように思えるが、実はこの当たり前こそが、最も難しいことであり、南阿蘇中学校から体育大会を引き算したときに、イコール0(ゼロ)では何もないということである。今大会のスローガンのもとで、体育大会に「日常」を足し算していく。是非ともそんな残り一週間であつて欲しい。

スローガン発表の後、各団長が、順に決意表明をしてくれた。

「勝つても負けても、悔いの残らない体育大会にしましょう」

まず赤団団長の馬場 愛空さんが、先陣を切った。

「みんなで楽しく、思い出に残る体育大会にしましょう。そして、青団は二年連続の優勝を獲りましょう」

次に、青団団長の鳥居 壮馬さんが、青団連覇に向けて、はっぱをかけた。

「黄団初の優勝を目指しましょう。そして、他の団の人も楽しめる体育大会にしましょう」

最後に黄団団長の安達 美空さんが、黄団初優勝を誓った。

赤、青そして黄による三つ巴戦の火蓋が切って落とされた。さっそく響く大きな掛け声が何とも心地よい。さて、雲の上に広がる空は、果たして何色となるのか。真っ赤な夕焼け空か、真っ青な青空か、それとも神秘的な黄昏色か。「雲外〇天」困難の先にある見たい景色をみんなで見るために。「陸力(力を合わせる)協心(心を一つに)せよ」そして、夢中で駆けろ、青春を!

■昨日はお忙しい中、久木野校区の保護者の皆様にはPTA除草作業にご協力いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで美しく整備された中で、生徒たちは精一杯体育大会に向けて取り組むことができます。改めて感謝申し上げますとともに、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。